

スティック包装機導入による、コスト削減と国内外販路拡大事業

粉末茶の競争力強化と消費者ニーズに応えるためスティック包装機を導入し、外注によるコストを削減し、弊社の販売状況に沿った包装を実施し、品質維持・納品の迅速化を図り国内外への販路拡大を目指す。



スティック抹茶を使用した抹茶飲料

事業のきっかけや目的

国内におけるリーフ茶の需要は年々低迷しており、一時期急増したペットボトル入り緑茶飲料も平成18年以降はほぼ横ばいで推移している。近年注目されているティーバッグや粉末などインスタント商品を取り入れることにより、国内外での販路拡大を目指している。

事業の取り組み内容と成果

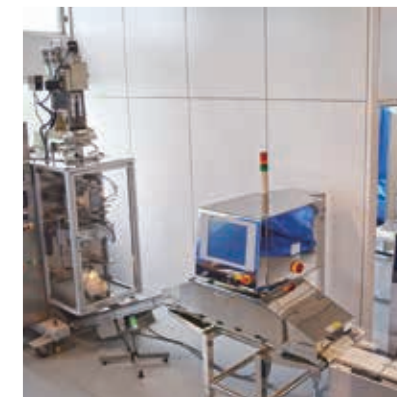
スティック包装機の導入により、スティック入り抹茶の生産が大幅に向上することが可能になった。それにより取引先、新規顧客の要望に応える体制が確立された。生産工程については、一部（袋詰め・異物検査・計量）を設備導入により一つにまとめることができ、段取り時間の大幅な短縮、納期短縮が実現した。

事業化に向けての今後の取り組み

現在は主に抹茶をスティック包装しているが、煎茶やほうじ茶等、様々な粉末茶を商品化する。手軽でおいしいお茶の楽しみ方をアピールし、お茶になじみのない外国人や若い世代に働きかけていきたい。



抹茶製品



スティック充填機・X線検出機一式



検品作業

SOUZU-ISHIN

未来に向けたお茶づくり

私たち堀口園は鹿児島県下第2位の茶生産規模を誇る志布志市に創業して30年になります。その間、地元生産家と共に品質にこだわり世の中のニーズに合った茶づくりを積極的に行ってきました。その結果、リーフ茶消費が落ち込む中でも毎年取扱量を伸ばしております。今後も未来に向け魅力あるお茶を創造します。

企業 DATA

昭和61年4月「お茶の堀口園」として個人創業開始、翌年3月有限会社堀口園に改組。平成元年1月株式会社に改組。平成22年碾茶工場を新設、生産開始。その間大型冷蔵倉庫5棟新設。平成26年3月茶ブレンド、仕上げ工場併設の本社工場新設。平成27年3月お茶の通信販売「さんちカフェ茶のん」業務開始。



本社工場

事業者	株式会社堀口園
代表者	代表取締役 堀口 常弘
設立年月日	昭和62年3月4日
所在地等	〒899-7512 志布志市有明町野神3451-8 TEL 099-475-2182 FAX 099-475-0890 E-mail cha@horiguchien.co.jp URL http://www.horiguchien.co.jp/
資本金額	1,000万円
従業員	24名
業種	飲食品卸売業